資料2-10　自己評価書イメージ

【自己評価実施要項より抜粋】

【全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」】

表紙

全学テーマ別評価自己評価書
「国際的な連携及び交流活動」
（平成１４年度着手分）

平成１５年○月
○ ○ 大 学

対象機関の概要・目的

機関名

§１　対象機関の目的・目標等

Ⅰ対象機関の概要	Ⅱ目的
1機関名:	
2所在地:	
3学部・研究科・附置研究所等の構成	
4学生総数及び教職員総数	
5特徴	

-1-

目標

機関名

Ⅲ目 標

- 2 -

対象となる活動及び目標の分類整理

機関名

Ⅳ対象となる活動及び目標の分類整理表

活動の分類	ページ	活動の分類の概要	対象となる活動	対応する目標の番号

-3-

活動の分類Ａの自己評価結果

機関名

§２自己評価結果

Ⅰ活動の分類単位の自己評価結果

活動の分類:

評価項目:実施体制

観　点	
観点ごとの自己評価	
観　点	
観点ごとの自己評価	
観　点	
観点ごとの自己評価	
補足説明事項	

-4-

-○-

-○-

-○-

活動の分類Ｂの自己評価結果

機関名

活動の分類:

評価項目:実施体制

観　点	
観点ごとの自己評価	
観　点	
観点ごとの自己評価	
観　点	
観点ごとの自己評価	
補足説明事項	

-○-

-○-

-○-

-○-

活動の分類Ｃの自己評価結果

機関名

活動の分類:

評価項目:実施体制

観　点	
観点ごとの自己評価	
観　点	
観点ごとの自己評価	
観　点	
観点ごとの自己評価	
補足説明事項	

-○-

-○-

-○-

-○-

項目単位の自己評価結果

機関名

Ⅱ評価項目単位の自己評価結果

評価項目:実施体制

水　準		
水準の判断に当たっての考慮事項		
特に優れた点及び改善を要する点等	特色ある取組	
	特に優れた点	
	改善を要する点	
	問題点	

評価項目:活動の内容及び方法

水　準		
水準の判断に当たっての考慮事項		
特に優れた点及び改善を要する点等	特色ある取組	
	特に優れた点	
	改善を要する点	
	問題点	

-○-

機関名

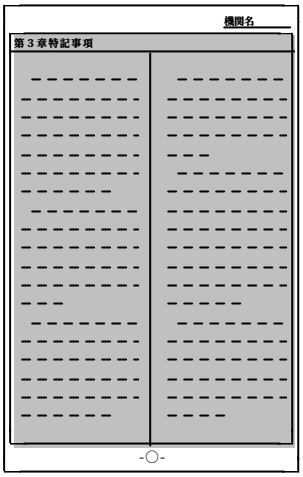
Ⅱ評価項目単位の自己評価結果

評価項目:活動の実績及び効果

水　準		
水準の判断に当たっての考慮事項		
特に優れた点及び改善を要する点等	特に優れた点	
	改善を要する点	
	問題点	

-○-

特記事項



注）　は，機構において作成する評価報告書に原文のまま転載します。

【分野別教育評価「人文学系」】

分野別教育評価自己評価書
「人文学系」
（平成１４年度着手分）

○○大学○○学部
（大学院○○学研究科）

平成１５年○月
○　○　大　学

○○大学○学部

Ⅰ対象組織の現況及び特徴

1　現況　　2　特徴
(1) 機関名　　・・・・・・・・
(2) 学部・(研究科)名　　・・・・・・・・・
(3)所在地　　・・・・・・・・・
(4)学科・(専攻)構成　・・・・・・・・・
・・・・・・・・・　　・・・・・・・・・
・・・・・・・・・　　・・・・・・・・・
(5)　学生数及び教員数　　・・・・・・・・・
・・・・・・・・・　　・・・・・・・・・
・・・・・・・・・　　・・・・・・・・・
・・・・・・・・・　　・・・・・・・・・

- 1 -

○○大学○学部

Ⅱ　教育目的及び目標
1　教育目的
(1) ・・・・・・・・・　　・
(2) ・・・・・・・・・　　・
(3) ・・・・・・・・・　　・
・　　(5) ・・・・・・・・・
・　　・・・・・・・・・・
2　教育目標　　・・・[目的(1)・(2)]
(1) ・・・・・・・・・　(6) ・・・・・・・・・
・・・・・[目的(1)]　　・・・・・・・・・・
(2) ・・・・・・・・・　　・・・[目的(3)・(5)]
・・・・・・・・・・　　・
・・・・・[目的(2)]　　・

- 2 -

○○大学○学部

Ⅲ　評価項目ごとの自己評価結果
1　教育の実施体制
(1) 要素ごとの評価
(要素1) 教育実施組織の整備に関する取組状況
○観点ごとの評価結果
(取組状況)
(分析結果)
(根拠理由)
○要素1の貢献の程度

(要素○)・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・
・

-3-
-○-
-○-

○○大学○学部

2　教育内容面での取組
(1) 要素ごとの評価
(要素1) 教育課程の編成に関する取組状況
○観点ごとの評価結果
(取組状況)
(分析結果)
(根拠理由)
○要素1の貢献の程度

(要素○)・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・
・

-○-
-○-
-○-

○○大学○学部

3　教育方法及び成績評価面での取組
(1) 要素ごとの評価
(要素1) 授業形態，学習(研究)指導法等の教育方法に関する取組状況
○観点ごとの評価結果
(取組状況)
(分析結果)
(根拠理由)
○要素1の貢献の程度

(要素○)・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・

-○-
-○-
-○-

○○大学○学部

4　教育の達成状況
(1) 要素ごとの評価
(要素1) 学生が身に付けた学力や育成された資質・能力の状況から判断した達成状況
○観点ごとの評価結果
(取組状況)
(分析結果)
(根拠理由)
○要素1の達成の程度

(要素○)・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・

-○-
-○-
-○-

○○大学○学部

5　学習に対する支援
(1) 要素ごとの評価
(要素1) 学習に対する支援体制の整備・活用に関する取組状況
○観点ごとの評価結果
(取組状況)
(分析結果)
(根拠理由)
○要素1の貢献の程度

(要素○)・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・

-○-
-○-
-○-

○○大学○学部

6　教育の質の向上及び改善のためのシステム
(1) 要素ごとの評価
(要素1) 組織としての教育活動及び個々の教員の教育活動を評価する体制
○観点ごとの評価結果
(取組状況)
(分析結果)
(根拠理由)
○要素1の機能の程度

(要素○)・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・

-○-
-○-
-○-

○○大学○学部

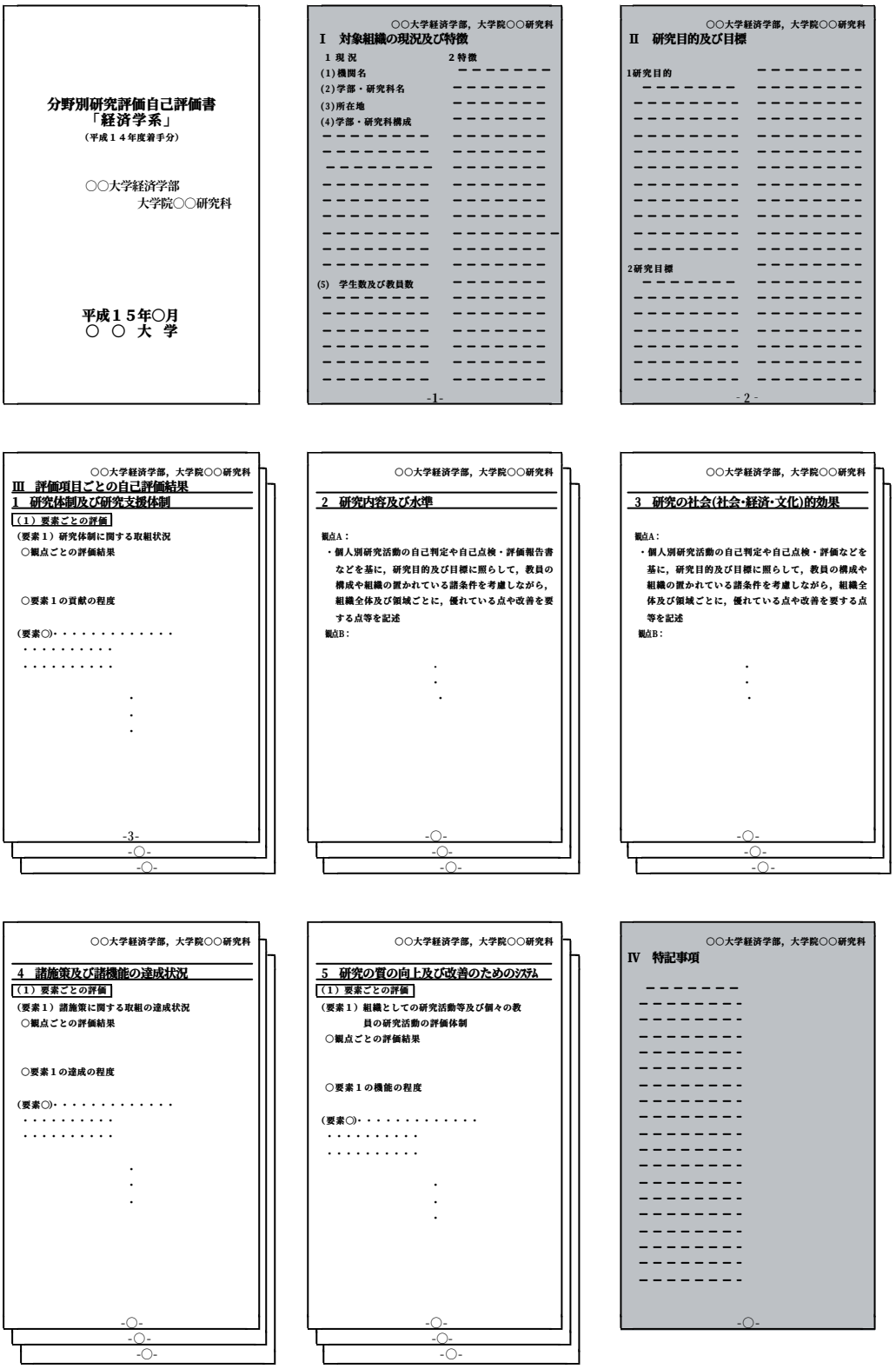
Ⅳ　特記事項

・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・

-○-

注）
　　は，評価報告書に原文のまま転載します。

【分野別研究評価「経済学系」】



分野別研究評価自己評価書
「経済学系」
（平成１４年度着手分）

○○大学経済学部
大学院○○研究科

平成１５年○月
○ ○ 大 学

○○大学経済学部，大学院○○研究科

Ⅰ　対象組織の現況及び特徴

１ 現 況　　２ 特徴

(1) 機関名
(2) 学部・研究科名
(3) 所在地
(4) 学部・研究科構成
(5)　学生数及び教員数

-1-

○○大学経済学部，大学院○○研究科

Ⅱ　研究目的及び目標

1研究目的

2研究目標

- 2 -

○○大学経済学部，大学院○○研究科

Ⅲ　評価項目ごとの自己評価結果

1　研究体制及び研究支援体制

（１）要素ごとの評価

（要素１）研究体制に関する取組状況

○観点ごとの評価結果

○要素１の貢献の程度

（要素○）・・・・・・・・・・・・・・

-3-
-○-
-○-

○○大学経済学部，大学院○○研究科

2　研究内容及び水準

観点Ａ：

・個人別研究活動の自己判定や自己点検・評価報告書などを基に，研究目的及び目標に照らして，教員の構成や組織の置かれている諸条件を考慮しながら，組織全体及び領域ごとに，優れている点や改善を要する点等を記述

観点Ｂ：

-○-
-○-
-○-

○○大学経済学部，大学院○○研究科

3　研究の社会(社会･経済･文化)的効果

観点Ａ：

・個人別研究活動の自己判定や自己点検・評価などを基に，研究目的及び目標に照らして，教員の構成や組織の置かれている諸条件を考慮しながら，組織全体及び領域ごとに，優れている点や改善を要する点等を記述

観点Ｂ：

-○-
-○-
-○-

○○大学経済学部，大学院○○研究科

4　諸施策及び諸機能の達成状況

（１）要素ごとの評価

（要素１）諸施策に関する取組の達成状況

○観点ごとの評価結果

○要素１の達成の程度

（要素○）・・・・・・・・・・・・・・

-○-
-○-
-○-

○○大学経済学部，大学院○○研究科

5　研究の質の向上及び改善のためのｼｽﾃﾑ

（１）要素ごとの評価

（要素１）組織としての研究活動等及び個々の教員の研究活動の評価体制

○観点ごとの評価結果

○要素１の機能の程度

（要素○）・・・・・・・・・・・・・・

-○-
-○-
-○-

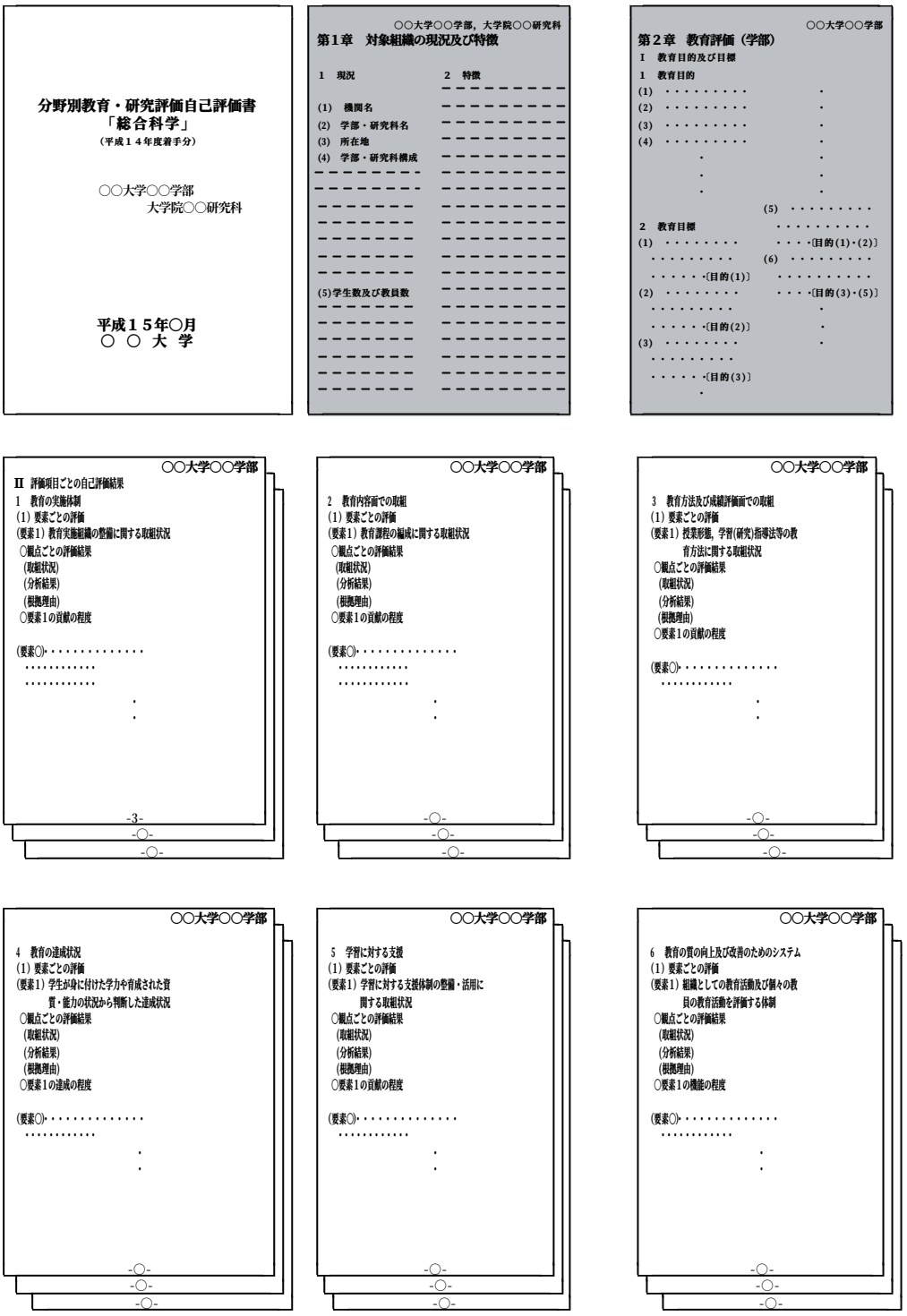
○○大学経済学部，大学院○○研究科

Ⅳ　特記事項

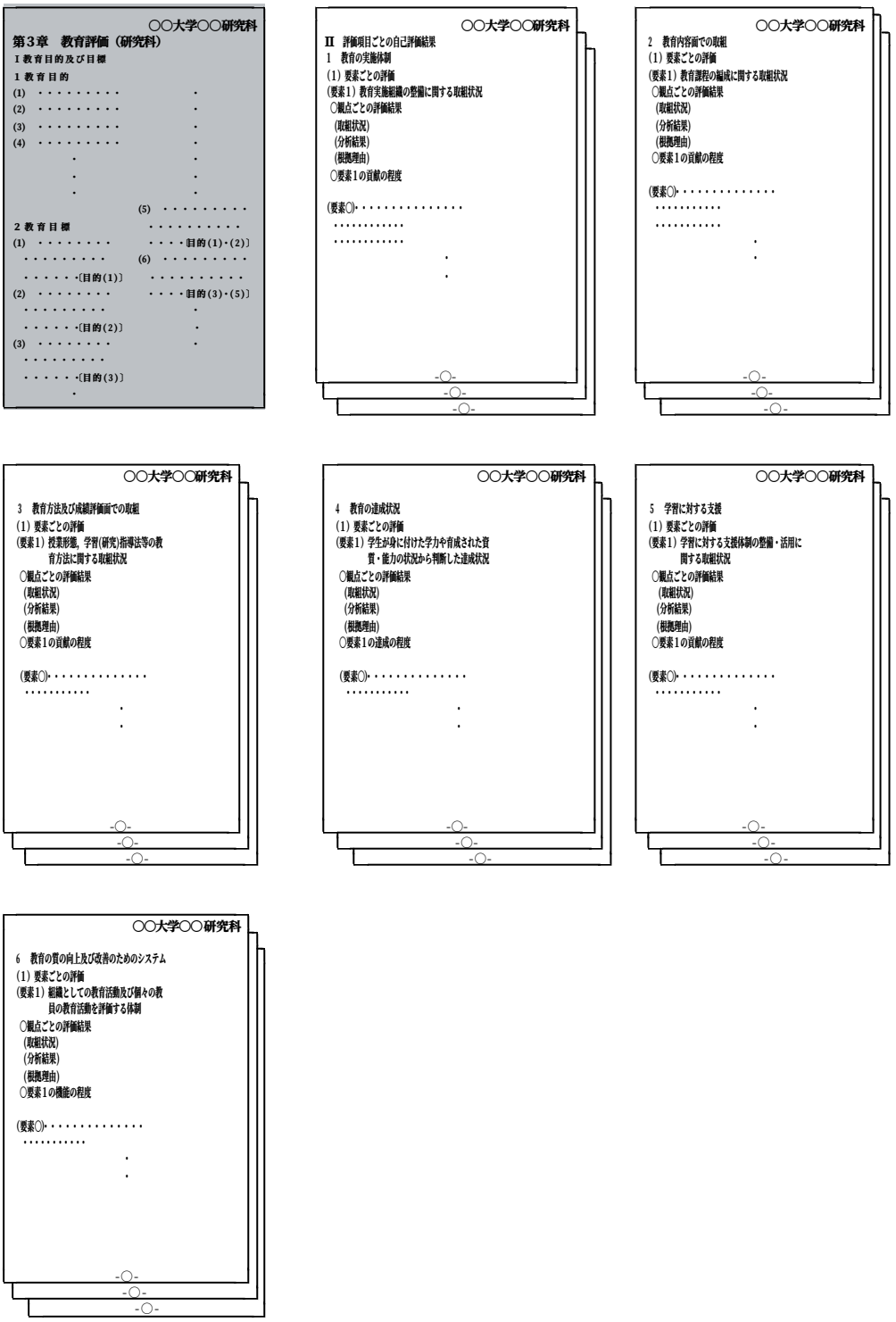
-○-

注）　　は，評価報告書に原文のまま転載します。

【分野別教育・研究評価「総合科学」】



注）　は，評価報告書に原文のまま転載します。



注）　は，評価報告書に原文のまま転載します。

注）　は，評価報告書に原文のまま転載します。